

授業科目 解剖学Ⅰ

【担当教員名】 山田 まりえ		対象学年	1	対象学科	理学・作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 解剖学Ⅰでは、人体の基本的構造を全体的に理解する。特に運動器、神経系以外の器官・組織系、内臓系（消化器・呼吸器・泌尿生殖器）、循環器系、感覚器系、内分泌系についてそれぞれの形態・構造を理解する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。 2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を説明できる。 3. 種々の組織の分類とその特性を概説できる。 4. 解剖学的姿勢を説明し、解剖学用語を適切に使える。 5. 消化器系を構成する器官、その付属器の名称、位置を説明できる。 6. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する各器官の名称、位置を説明できる。 7. 泌尿生殖器系を構成する器官の名称、位置ならびに簡単な機能を説明できる。 8. 主な内分泌腺の名称と位置、分泌されるホルモンの名称を言える。 9. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を概説できる。 10. 特殊感覚を司る各器官の名称、位置ならびに簡単な作用を概説できる。 11. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。					
回数	授業計画又は学習の主題		SBO		
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1	解剖学序論	解剖学とは 解剖学用語	1	講義	
			4		
2	組織学	組織学総論 細胞と四大組織	2	〃	
			3		
3	内臓学1	消化器系 呼吸器系	5	〃	
			6		
4	内臓学2	泌尿生殖器系 内分泌系	7	〃	
			8		
5	循環器系	心臓 大循環と小循環	9	〃	
6	感覚器系	味覚器、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、外皮	10	〃	
7	ヒトの発生	頭頸部・顎顔面部の発生	11	〃	
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
参考書		人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂	2000年 9233円
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・態度 期末試験の総合評価		【履修上の留意点】 短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、復習を欠かさない事が重要です。			